

式 辞

春風香る校庭の木々の緑が私達の目を惹きつけ、万物には至る所、生命の新しい息吹があふれています。

この今日の佳き日に、千葉県立沼南高柳高等学校は、ここに二百三十七人の新しい仲間を迎えます。壇上、御来賓の方々ならびに保護者の皆様の御臨席を賜り、ここに平成三十一年度の入学式を挙行できますことは、誠に喜ばしいことでもあります。

さて、新入生の皆さん、入学おめでとうございませう。皆さんはいよいよ本日から沼南高柳高等学校の一員となります。

そこで、新入生の皆さんが本校での第一歩を踏み出すにあたり、私から三つのお願いをしたいと思います。

第一は、一人ひとりが将来への確かな目標を持ち続け、着実に努力を続けていただきたいということです。

入学式の式辞という場ではありますが、これからの三年間はあっという間に過ぎていきます。その駆け抜ける高校時代を有意義に過ごすためには、一人ひとりが確かな目標を定め、何を学び、何を行うのかを考えながら、その実現に向けての努力が必要です。困難な出来事に遭うと人間はとかく後ろ向きになりがちです。しかし、若いあなたたちは自分自身さえも気づいていない大きな可能性を持っています。自己の望ましい未来を思い浮かべ、挑戦する勇気を持ち、日常の身近な行動課題を克服し、努力し続けることにより、将来の大きな夢の実現につなげていってください。

第二は、自ら規律を守り、周りの人の立場を理解するように心がけていただきたいということです。社会のルールは集団の人間同士が尊重しあい、互いに暮らしやすくするためにあります。人は自分一人で生きているわけではありません。人を大切にし、人に大切にされる、その相互の関係をつくるための知恵がルールであり、社会の規律です。社会の規律を守り、御家族、友人や先生方などと良き人間関係を作りながら高校生活を送っていってください。良い行いは必ずあなた自身にかえってきます。

第三は、幅広い視点を持って、学んでいただきたいということです。高度情報化社会の進展と経済のグローバル化に伴い、今、

日本、いや世界は厳しい経済競争の場に変わりつつあります。皆さんを支えるべき大人自身でさえ、その流れの中でともすれば自分を見失いかねない現代です。そのような中、人類が今日まで長期にわたって蓄積してきた知識や経験は道しるべとなり、皆さんを望ましい方向に導いてくれるはずです。変化の激しい時代を生きる皆さんにとって、確実な学びこそがその進むべき道を示し、ある時はその身を守り、将来への希望を与えるものであります。

毎日の授業はもちろんのこと、部活動の先輩やクラスでの友人との交流、地域の人たちとの共同作業、先生方との会話やご家族と過ごす時間、それらすべてを皆さんにとっての学びの場と受け止めて、成長の糧としていってください。

沼南高柳高等学校は、皆さんに多様な学びの場を提供していきます。どうか、それらの機会を有効に活用し、幅広い視点で自ら学び、それぞれの将来を切り開いていってください。

最後になりますが、保護者の皆さま、お子様のご入学おめでとうございます。私たち教職員は心を一つにして指導と支援に力を尽くし、生徒の能力を最大限に伸ばしていきたいと考えています。あわせて、子ども達はその能力と人間性をよりよく伸ばしていくために、学校だけでなく、家庭と地域の三者が協力してあたる必要がございます。どうか、お子様の自己実現と本校のますますの充実と発展のため御協力いただきますようお願いいたします。

新入生の皆さんにとって本校での高校生活が充実し、輝かしいものであることを願いながら式辞といたします。

平成三十一年四月九日

千葉県立沼南高柳高等学校長 中村孝彦